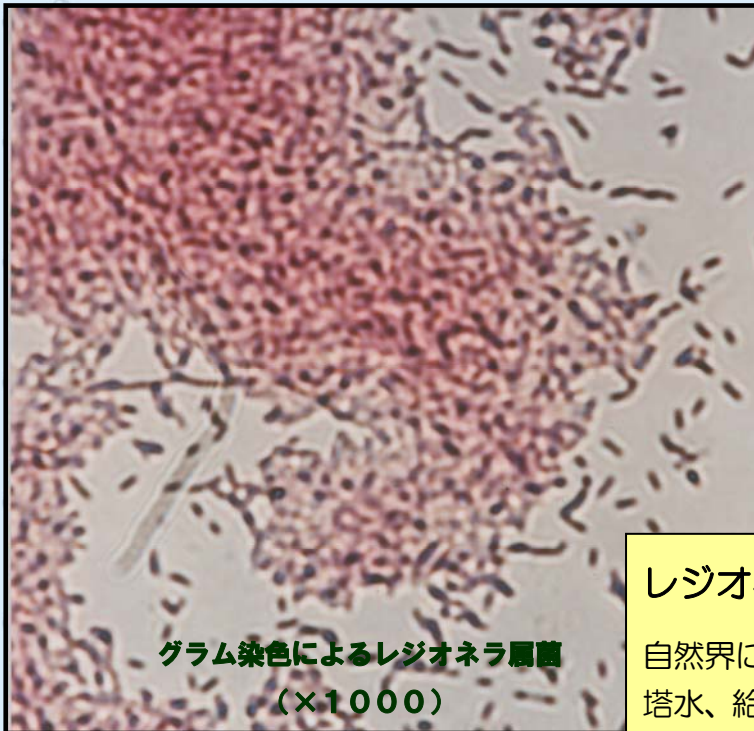


レジオネラ属菌検査

日本環境は高度な技術とノウハウを駆使し、企業の環境パートナーを目指しています。



グラム染色によるレジオネラ属菌
(×1000)

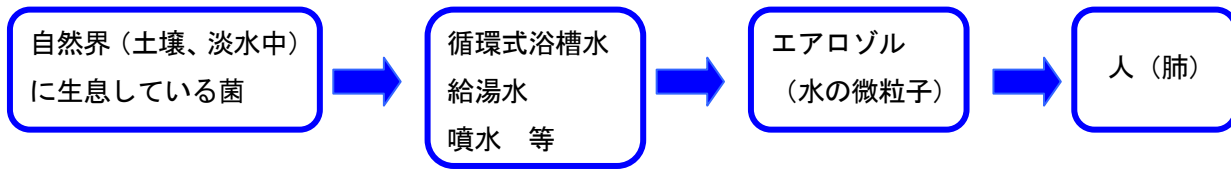
レジオネラ属菌とは…

自然界に普通に存在し、冷却塔水、給湯水などにも混入して増殖します。菌が混入した水の粒子を吸い込むことにより人に感染して、肺炎等（**レジオネラ症**）を引き起こします。

**トラブルを未然に防止するため、
レジオネラ属菌の定期的な検査をおすすめします。**

最近、レジオネラ属菌の感染例が多く報告されてきています。浴槽水、冷却塔水、加湿器、噴水などから発生するエアロゾル（細かい水の粒子）が感染源とされています。死亡例もあることから、被害防止に向けて、都道府県の条例なども整備されてきています。

■レジオネラ属菌の感染ルート



■レジオネラ属菌による症状

レジオネラ症は共通の感染源から複数の人が感染し発病します。人から人への感染はありません。

健康な成人が発症することはまれで、おもに幼児、高齢者または入院患者などの免疫力が低下している人が感染します。

レジオネラ肺炎：7～10日の潜伏期の後に、発熱、全身倦怠、疲労感、頭痛、筋肉痛、咳などで始まります。発病後1週間以内に死亡する劇症型もあります。
 ポンティアック熱：自然治癒型でインフルエンザに似た熱性疾患。死亡例はありません。

■レジオネラ属菌の規制

冷 却 水	望ましい範囲として 10 ² 未満 CFU/100ml 「レジオネラ症防止指針」厚生労働省監修
24 時間風呂浴槽水	100ml 中不検出を目標に衛生管理を行う（経済産業省 専門家会議所見）
公 衆 浴 場	100ml 中不検出（厚生労働省）
プール水（エアロゾルを発生させやすい施設、水温が比較的高めの設備がある場合）	検査を年1回以上行い、検出されないことを確認する。（厚生労働省）

※CFU：colony forming unit 培地上のコロニー（菌集団）の数

■レジオネラ属菌の感染防止のために

是非、定期的な検査をおすすめします。

○検査に際しては、検査に必要な水量約500ml 2本を、当社が送付します採取ビンに入れて頂き、ご返送頂くだけです。

○検査結果は、約10日で、お客様のもとにご郵送いたします。

日本環境は以下の項目の調査・分析についても最先端の技術を提供いたします。

- ・室内環境測定、ホルムアルデヒド・VOCsの調査・分析
- ・環境調査（大気・水質・騒音・振動・悪臭・土壌・廃棄物・底質・気象・動植物生態系）
- ・環境ホルモンの調査・分析（ダイオキシン類を含む）
- ・環境アセスメント（調査・予測・評価・対策）
- ・廃棄物処理施設生活環境影響調査
- ・交通量調査・予測検討
- ・大規模小売店舗立地法の環境配慮対応業務
- ・ISO、PRTRに関する支援業務

測定・分析を行う主要機器類

- ・ガスクロマトグラフ二重収束型質量分析計
- ・（JMS-700、700D、800D）
- ・ガスクロマトグラフ質量計（GC-MS）
- ・ガスクロマトグラフ（ECD、FPDなど）
- ・高速液体クロマトグラフ（HPLC）
- ・原子吸光度計
- ・ICP質量分析計

●お問い合わせ先:



日本環境株式会社

環境計量証明事業所

www.n-kankyo.com

本 社	〒230-0051 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央 3-12-31	TEL.045-501-8651	FAX.045-504-0610
● 東京事業所	〒134-0091 東京都江戸川区船堀 5-11-19	TEL.03-5676-8711	FAX.03-5676-8710
● 神奈川事業所	〒230-0051 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央 3-12-31	TEL.045-501-8271	FAX.045-502-0437
● 千葉支店	〒272-0014 千葉県市川市田尻 3-4-1	TEL.047-370-2561	FAX.047-370-3050
● 埼玉支店	〒336-0964 埼玉県さいたま市緑区東大門 2-2-14	TEL.048-812-6222	FAX.048-878-7563
● 大阪事業所	〒533-0013 大阪市東淀川区豊里 1-7-23	TEL.06-6990-7571	FAX.06-6990-7572
横浜事業所	〒236-0003 神奈川県横浜市金沢区幸浦 2-1-13	TEL.045-780-3851	FAX.045-780-3847